

今回は、「仕事の誤解」という小冊子からです。

×ミスはしたくてしているのではないと思うのは誤解だ！

仕事ができる人は、ミスがないように細心の注意を払って仕事に取り組んでいる。そして、ミスの中でも、緊張感が途切れたとき生じる「うっかりミス」は大敵なことを承知している。なぜなら、**たかが「うっかりミス」もそれが続くと、取り返しのつかない重大クレームに発展する可能性があることを経験で知っているからだ。**「ミスはしたくてしているのではない。解決すれば済むものである」という寛大なことを言う人がいるが、それは間違いだ。なぜなら、そのたびにやり直しをしなければならない。余分な仕事を増やしている重罪なのだ。ミスの解決に追われ一日が終わり、「あ～今日は一日よくがんばった！」などと、**達成感を感じている人をよく見かけることさえある。**本来しなくてもよかった仕事なのである。

※ 基本をバカにするな

ミスのない仕事とは、基本に忠実な仕事である。**ミスをしてしまうのは、ほぼ例外なく基本から外れた仕事の進め方をしているときである。**こんな驚く事実があった。ある会社で起こった数量間違いのミスの原因は、伝票数字の見間違いでなく、寝不足のためウトウトしながら数えていたからだという。100個数えるとき、70個を超えると睡魔で意識がもうろうとし、また最初からやり直す。その繰り返しの結果のミス。この数量数えならば、10個ずつの単位で、区切りながら進めていくのが基本だ。

※ どんな仕事でも心のスキをつくるな

とりわけ、心のどこかに「こんな仕事」「こんなつまらない仕事」という思いがあると、人は基本を守らないことが多い。「急いでいたので、つい基本をおろそかにしてしまって…」という言い訳をする心のどこかに、そんな仕事を軽く見る思いはなかっただろうか？小さなミスの積み重ねが、会社の利益をなくし、重大な事故やクレームを呼び込むことを忘れてはいけない。

カッコを埋めてください

1. たかが（ ）もそれが続くと、取り返しのつかない（ ）に発展する可能性があることを経験で知っているからだ。
2. （ ）をしてしまうのは、ほぼ例外なく（ ）の進め方をしているときである。
3. 心のどこかに（ ）（ ）という思いがあると、人は基本を守らないことが多い。
4. ミスをしないようにするために、あなたはどんな事を気をつけていますか？

（ ）